

令和元年度農林水産業再生セミナー 開催要領

～これからの農村・農業のあり方を考える～

1 目 的

本県では、震災から8年半が経過した今、東日本大震災と原子力災害からの復興が着実に進み、経営再開や新たな事業の展開などが見られる一方、人口減少や高齢化などによる担い手不足が全国より顕著な問題となっている。

さらに、中山間地域をはじめとする農村地域においては、平坦部より急激な人口減少、高齢化による過疎化、頻発する災害、野生鳥獣による被害など課題が山積している。

一方、全国的に若い世代をはじめとした「田園回帰」の意識の高まりや、全国各地で地域の特性を生かした地域づくりの取組が見られるなど、農村地域のあり方を見直す動きも見られる。

そこで、過疎・中山間地域が面積の約8割を占める本県においても、今一度農村・農業の目指すべき方向について議論を深めるため、農村地域の特性を生かした地域づくりをテーマとしたセミナーを開催する。

2 開催日時

令和元年 11月 18日（月） 13:30～16:00

3 開催場所

杉妻会館 4階牡丹（福島県福島市杉妻町3-45）

4 対 象

農林漁業者、農林水産業関係団体、市町村、食品産業協議会会員、県 等

（100名程度）

5 内 容

講演1

『地域資源を活用して農村・漁村の活性化を』

講師 福島大学食農学類 准教授 林 薫平 氏

講演2

『農山漁村（げんば）から地方創生を考える ～難問解決に向けた私たちの役割～』

講師 山形県置賜総合支庁産業経済部 農村計画課長 高橋 信博 氏

6 主 催

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動推進本部

福島県

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動とは、本県農林水産業・農山漁村が東日本大震災及び原子力災害を乗り越え、子供達に「食」と「ふるさと」をしっかりと引き継いでいくため、生産から流通、消費に至る立場の人が一体となって展開している運動。